|鹿|児|島|県|立|埋|蔵|文|化|財|セ|ン|タ|-

Kagoshima Prefectural Archaeological Center





埋えだより

第80号

令和元年10月31日発行

重要文化財に新指定!

三角山遺跡(中種子町)





さんかくやま

三角山遺跡は,熊毛郡中種子町に所在し,種子島のほぼ中央部,島内では最高所に近い,標高約250mの丘陵地にある遺跡です。新種子島空港建設に伴い,平成7年度から平成14年度まで発掘調査を実施しました。調査の結果,薩摩火山灰(約12,800年前)の下層から,縄文時代草創期の遺構,遺物を多数発見しました。

これらの出土遺物のうち、全形が復元できる多数の隆帯文土器や、文様の構成がよくわかる大形土器片に加えて、それらに伴う石器など、土器・土器片 160 点、石器 204 点(附石核・剥片 60 点含)、計 364 点が縄文時代草創期の南九州における生活・文化の様相を知る上で、学術的価値が高いものであるとして、令和元年7月23日、重要文化財に指定されました。

目 次

•	・重要文化財に新指定(三角山遺跡)	 1
•	・発見!発掘速報・・・・・・・2	3
•	· 上野原遺跡今昔⑦	 4
	・ワクワク考古楽ほか	 5

・百聞は一見にしかず(埋蔵文化財研修)……6

「埋文だより」 第80号

今年度も,発掘調査を行っています。県立埋蔵文化財センターの 発掘調査成果の一部を紹介します。

西南戦争の激戦地跡

たかくまやまげきせんちあと ~高熊山激戦地跡(伊佐市)~



高熊山激戦地跡は、大口盆地の北東にある高熊山(標高 412m) 山頂一帯に所在しています。1877 (明治10) 年の6月に、高熊山

に薩軍の熊本隊が、東側にある坊主石山に雷撃隊がそれぞれ陣を構え、堡塁(塹壕) を構築して官軍と激しい戦いが行われました。

高熊山の堡塁は、9基確認されています。最大の堡塁は、南北10m・東西5m、

胸壁(土手)の高さは90 cmに もなります。官軍が攻めてき たと考えられる北側斜面から は、銃弾16個と薬莢4個も、 発見されました。県内の西南 戦争跡は、ほとんど発掘調査 されていないので、今回の調





査成果は貴重な資料となります。 ※現在は公園となっているので、いつでも見学可能です。伊佐市で

西南戦争の歴史を感じてみてはどうでしょうか。

台地の上に生きた弥生時代の人々

~廣牧遺跡(鹿屋市)~

廣牧遺跡は、鹿屋市吾平町麓にあり、姶良川と大姶良川に挟まれた細長いシラス台地上 に立地する遺跡です。平成30年度から主要国道鹿屋吾平佐多線(吾平道路)の建設に伴い、

発掘調査を行っています。昨年度の調査では、古墳時代~古代に使用されたと考えられる「古道跡」17 条などが見つかりました。今年度の発掘調査では、弥生時代中期後半~後期前半(約2,000年前)と古 代の遺構が確認されています。弥生時代中期後半~後期前半では、深さが 1m 以上ある張り出し部をもつ

竪穴建物跡1棟や柱穴状ピットなどが確認され、土器や石器が出土し ました。石器は収穫具と考えられる大型の剥片石器など多様な種類が あります。また、丁字頭の土製勾玉を発見しました。土製勾玉は、主 に大隅半島に分布しており、この地域の弥生時代の特徴を表すもので す。このように、廣牧遺跡は大隅半島の弥生時代中期後半~後期後半 の人々がどのような生活をしていたかがよくわかる遺跡です。









「埋文だより」 第80号

鹿児島城の範囲はどこまでか

~ たいまじょうあと ~ 鹿児島城跡 (鹿児島市) ~



鹿児島城跡では、城域本来の範囲を確認する調査を行って

いしぐみはいせき 黎明館と城山の境で底石をもつ石組配石と建物の基礎にあたる地



業が検出されました。また国道 10 号線と堀 の間にある緑地帯部分では、底石のない石 組配石や路面が浅く窪み, 硬化した部分が 検出されました。それぞれ、藩政時代の絵

図に納戸が、幕末~明治初期の絵図に帯状の空き地が描かれており、 それらとの関係が注目されます。





縄文時代の遺跡を掘って

~牧 B遺跡(曽於市)~



牧 B 遺跡は県道飯野松山都城線(末吉道路)改築に伴い,令和元年 6 月から 10 月まで本 調査を実施しました。縄文時代後・晩期の遺物を含む地層を掘り下げたところ、約500点の 土器や石器が出土しました。また、中央に土坑のある住居状の遺構が1基検出され、縄文時代後期の御 領式土器や軽石、磨石、炭化物などが出土しました。縄文時代早期の遺物を含む地層からは、下剥峯式





上器や押型文土器、塞ノ神式土器、 石鏃、スクレイパー、磨石などが出 土しました。調査期間中に多くの見 おして地域の歴史を身近に感じてい

確認調査から見えてきたこと

0.00.00.00.00.00.00.00.00



~川ノ段遺跡(出水市)~

山ノ段遺跡は出水市下鯖町にあり、南九州西回り自動車道建設に伴って令和元年5月に 確認調査を行いました。確認調査とは、遺跡内にトレンチと呼ばれる穴を数か所掘って、 遺物や遺構の有無を調べ、遺跡の内容や範囲を確認するものです。

調査の結果,遺跡の北側半分で土石流の痕跡が確認されました。直径が30cm~1mほどの大きな岩が大 量に検出されました。1回だけでなく、複数回に渡り土石流の被害を受けていたと考えられます。遺跡の 南側半分からは、弥生時代や縄文時代晩期、

縄文時代早期の土器が出土しました。また、 石器を作るために持ち込まれたと思われる 黒曜石やチャートの破片が複数出土しまし た。今後、本調査を行い、山ノ段遺跡の詳 細な当時の様子を解明していきます。







「埋文だより」 第80号 「埋文だより」 第80号

(7)上野原遺跡と鹿児島の遺跡 ~「埋文だより」にみる鹿児島の歴史~

上野原遺跡の発掘調査の歴史は、埋蔵文化財センターの設立初期の頃とほぼ同時期になります。 平成4年4月、埋蔵文化財センターは旧姶良郡姶良町平松に開所し、その後、霧島市上野原に移転し ました。上野原遺跡をはじめ、鹿児島県内で多くの遺跡が発掘調査され、今なお調査は続いています。 今回は、「埋文だより」第15~28号の表紙を飾ってきた鹿児島県を代表する多くの遺跡を振り返ります。



























第15号 掘立柱建物跡(市ノ原遺跡第1地点)

第16号 鏡に秘められた歴史 (東免遺跡)

上野原遺跡復元公開 20 万人達成

第18号 塞ノ神式土器の完形壺(城ヶ尾遺跡)

第19号 ミルクストーン(前原和田遺跡) ※フルカラー開始

第20号 よみがえる弥生のムラ (魚見ヶ原遺跡)

第 21 号 復元 (上野原遺跡) 第 22 号 文化財防火デー

第23号 見学者40万人達成(上野原遺跡)

ワクワク考古楽

西南戦争を掘り、学ぶ授業

『ワクワク考古楽』とは、皆さんのお住まいの地域で 発掘された本物の考古資料を活用して、埋蔵文化財セン ターの職員が出張授業を行うものです。毎年行っている 発掘現場での体験活動や,埋蔵文化財センターに収蔵さ れている資料の貸し出しも可能です。 令和元年度は、既 に小・中・高等学校合わせて計7校で実施しました。ま

た, 市町村の研修でも1グループ活用していただきました。今後, 小・中学校3校で実施予定です。各学





校で, 来年度の行事を検討する時期 ではないでしょうか。是非、御活用 ください。詳細は、6頁にある埋蔵 文化財センターのホームページから 検索していただくか、Facebookから 入り, 内容をご確認ください。

上野原縄文の森 第55回企画展 講演会



上野原縄文の森の第55回企画展『新発見!かごしまの遺跡2019~ 発掘調査速報展~』の関連行事である講演会を、8月と9月の2回 に渡って開催しました。それぞれ滝ノ上火薬製造所跡(鹿児島市) と春日掘遺跡(大崎町)、本御内遺跡(霧島市)と六反ヶ丸遺跡 (出水市)の計4遺跡の調査成果

が紹介され, 多くの考古学ファン で賑わいました。

次回の企画展は,第56回『戦国 武将 島津義弘の武と雅~考古資 料にみるかごしまの戦国時代~ です。



田園地帯に広がる、六反ヶ丸遺跡

11月23日(土)から開催予定です。

くわしくは、上野原縄文の森のホームページでご確認ください。

Facebook

学校敷地内の発掘, 本御内遺跡

https://www.facebook.com/kagoshima.maibun/



鹿児島県立埋蔵文化財センターでも、Facebook をはじめ ました。

現在の発掘調査の様子や 考古学出前授業、土器や石器の 貸出についてもすぐチェックできます。

現地説明会などのイベントや 各種研修講座の開催などの お知らせも随時更新します。是非、お友達とご覧ください。



Facebook QR コード

第24号 縄文フェスタ2000 (上野原遺跡) 第25号 埋蔵文化財資料センター (仮称) 計画

第27号 先生も縄文体験に挑戦

第28号 『埋文センター10年の歩み展』

第26号 古代の木簡(京田遺跡)

※第29号から霧島市に移転後の「埋文だより」になります。

「埋文だより」

鹿児島県立埋蔵文化財センターでは、 児童・生徒をはじめ、 教職員や市町村の専門職員の皆さんを対象とした研修や体験 学習を随時開催しています。今年も、たくさんの方がいろいろ な活動に対し、 積極的にそして楽しみながら取り組まれ、 多く のことを学ばれた様子でした。

地域の歴史や文化を知る, 見る, 体験する講座として, 夏休みの期間 に学校の先生方を対象とした研修を

行いました。社会科の先生だけではなく、興味関心を持って、各教科に生か そうとする姿勢が感じられ、 充実した研修になったと思います。 来年度も多くの 先生方の参加をお待ちしています。



感想(抜粋)

☆勾玉作りは時間に余裕があり、じっくり取り組むことが できた。歴史を学んでから、遺跡を見ることで、より興 味を持つことができた。

☆今の生活は,古代の人たちの生活の上に成り立っているも のだとわかり、子どもたちにも、それを感じてほしいと思った。

☆埋蔵文化財を活用した学習指導については、他校種・他教科の先生方の様々なアイデアを 聞くことができ参考になった。有意義な2日間でした。

この研修を今後の教育活動にしっかりと活かしていきたいと思います。











市町村教育委員会の職員の方々を対象 とした講座で、初級と中級の2回開催しま した。現在直面している整理作業や発掘

調査についての課題を取り上げ、実技面でも写真撮影や実測等を習得す る機会になりました。

アンケート結果(抜粋)

- ☆実際に実技の時間が確保されてよかったです。
- ☆発掘調査・報告書作成の事前準備や手続き,スケジュール管理が理解でき てよかった。
- ☆収蔵遺物の管理と施設の利用について,実際の状況が見学で きてよかった。
- ☆御楼門建設状況について見学、講義があり、また発掘 現場での具体的な写真撮影に時間を割いていただけた ので、より具体的に研修を積むことができた。
- ☆各市町村によって多様な課題を抱える現状で、個別に取 り上げてくれたことはありがたい。

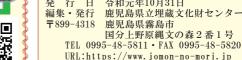




当センターの見学は、土曜・日曜・祝日・年末年始を 除き,毎日午前9時~午後5時まで,入館料は無料です。 上野原縄文の森

なお, 当センターのホームページは, 鹿児島県 (https://www.pref.kagoshima.jp/)

または、上野原縄文の森(https://www.jomon-no-mori.jp)、QRコードからお入りください



埋えだより

発 行 日 令和元年10月31日 編集・発行 鹿児島県立埋蔵文化財センター ₹899-4318 鹿児島県霧島市 国分上野原縄文の森2番1号

> URL:https://www.jomon-no-mori.jp E-mail:maibun@jomon-no-mori.jp